

## 事例 2 表現活動の充実を図り、気付きの質を高める事例

- 学年 第1学年
- 主な領域 公共物や公共施設の利用 内容(4)
- 事例のポイント
  - ①別所沼マップを活用した表現活動を工夫する。
  - ②別所沼マップを活用した伝え合い交流する活動を工夫する。
  - ③気付きの質を高めるための振り返りを工夫する。
  - ④気付きの質を高めるためのICT端末の活用を工夫する。

### 1 単元名 「こうえんを たんけんしよう」(16時間)

### 2 単元について

#### (1) 児童の実態について

本学級の児童は、1学期に「がっこうをたんけんしよう」において、学校探検に取り組んだ。はじめは、学校の施設に着目して探検する児童が多かったが、繰り返し探検を行う中で、学校で働く人たちに興味をもち、自分から声を掛けることができるようになった。また、探検したことをカードにかき、自分のお気に入りの場所やものを友達に紹介したり、先生に伝えたりしている姿が見られた。1学期末には、学校以外の場所も探検したいという思いから、行き先を話し合い、図工の学習で訪れた別所沼公園を探検することになった。

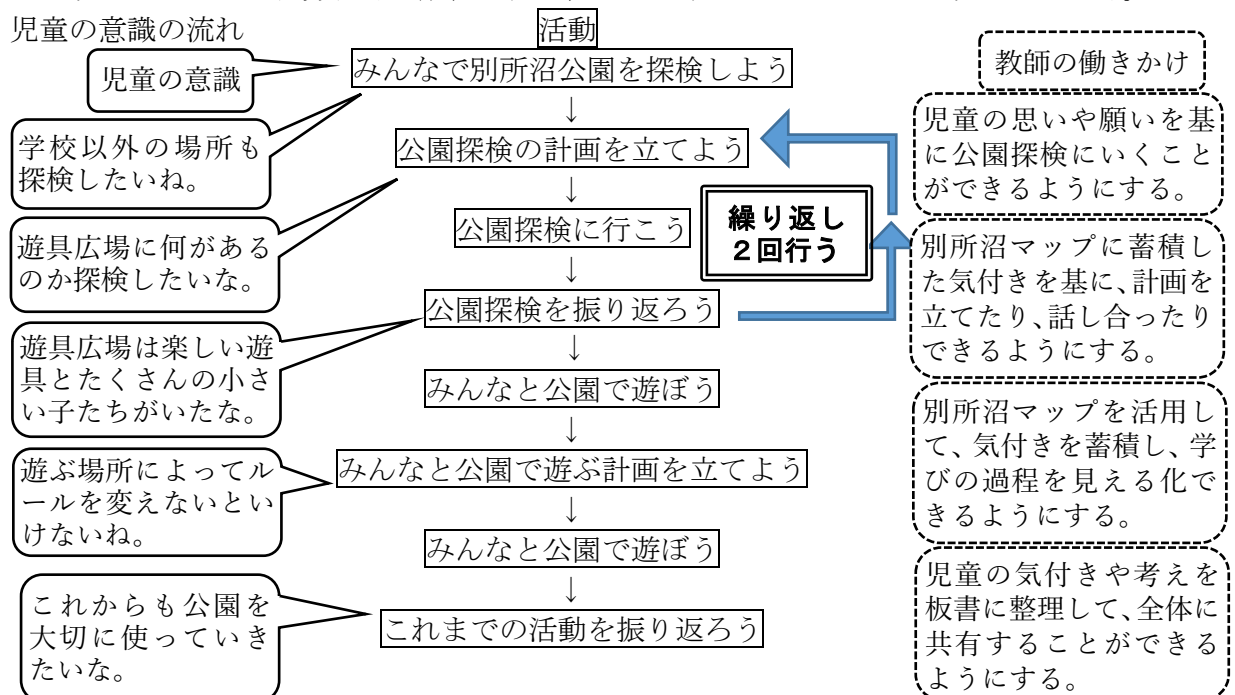
#### (2) 単元設定の趣旨と構成上の配慮

本単元は、児童の実態と小学校学習指導要領の内容(4)を受けて設定したものである。ここでは、公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなでするものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるとともに、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用しようとすることを目指している。

単元を構成するに当たっては、実際に公園を利用し、ものや施設、そこを利用したり支えたりしている人々と関わることを大切に単元を構成していく。また、単元を通して、児童が学びの過程を捉え直し、気付きを自覚的にすることができるように「別所沼マップ」を活用する。

「別所沼マップ」には、公園探検をして気付いたことや分かったことをかき込んだり、毎時間の振り返りを蓄積したりして、一人一人の学びの過程を見えるようにしていく。また、「別所沼マップ」に表現された気付きを捉え直すことができるように、振り返り表現する場を意図的・計画的に設定する。具体的には、単元の終末に「別所沼マップ」を基に、活動を振り返り、気付きを捉え直しながらみんなと公園で遊ぶ計画を立てたり、単元を通して何が分かり、何ができたようになったのか自分自身の成長を捉え直しすることができるようにしていく。

#### (3) 児童の意識の流れ





### 3 単元の目標

別所沼公園を利用する活動を通して、そのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使うものがあることや公園を支えている人々がいることなどが分かるとともに、公園を大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。

### 4 単元の評価規準と小単元の評価規準（16時間扱い）

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準		別所沼公園を利用する活動を通して、身の回りにはみんなで使うものがあることや公園を支えている人々がいることなどが分かっている。	別所沼公園を利用する活動を通して、そのよさを感じたり働きを捉えたりしている。	別所沼公園を利用する活動を通して、公園を大切にし、安全に気を付けて正しく利用しようとしている。
小単元の評価規準	1 こうえんたんけんのじゅんびをしよう (2)		①公園探検で行いたいことを考えて、グループごとに探検の計画を考えている。	①公園を利用した経験を基に、友達と話し合いながら探検の計画を立てようとしている。
	2 こうえんをたんけんしよう (9)	①みんなで、気持ちよく利用するためにルールやマナーがあることや、公園にはみんなで使うものがあること、それらを支えている人々がいることが分かっている。	②公園の利用を振り返り、見付けたよさや働きを身近な人々に伝えている。	②ルールやマナーを大切にし、公園を正しく安全に利用しようとしている。
	3 みんなとこうえんであそぼう (5)	②公園を利用すると、自分たちの生活が楽しく豊かになることに気付いている。 ③公園を利用する際、ルールやマナーを守っている。	③公園のよさを感じたり、働きを捉えたりしながら、公園を利用しようとしている。	③公園や公園を支える人々に親しみや愛着をもち、大切にしようとしている。

### 5 指導と評価の計画

小単元名（時数）	主な学習活動	小単元の評価規準との関連	評価規準から想定した具体的な子供の姿（評価方法）
1 こうえんたんけんのじゅんびをしよう (2)	①探検したい公園を決め、公園探検の計画を立てる。 (2)	思・判・表① 態①	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園探検で活動したいことを考えて、グループごとに探検の計画を立てている。（発言・ノート）</li> <li>公園を利用した経験を基に、探検の計画について話し合い、安全上の決まりを守った計画を立てようとしている。</li> </ul>
 <p>事例のポイント① 公園での活動に見通しをもつことができるように友達と話し合いながら計画を立てることができるようにした。</p>		 <p>事例のポイント④ インターネットで別所沼公園について調べ、探検の計画を立てることができるようにした。</p>	

2 こうえんをたんけんしよう (9)

- ①グループごとに公園探検を行う。(2)
- ②探検の振り返りを行い、次の探検の計画を立てる。(3)
- ③グループごとに公園探検2を行う。(2)
- ④探検の振り返りを行う。(2)

知・技①

- ・気持ちよく利用するためにルールやマナーがあることに気付いている。(発言・作品・つぶやき)
- ・公園にあるものや施設の意味や役割に気付いている。(発言・作品・つぶやき)
- ・公園にはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることに気付いている。(発言・作品・つぶやき)

思・判・表①

- ・公園探検したことや話し合ったことを基に、グループごとに探検の計画を立てている。(発言・ノート)

思・判・表②

- ・公園探検をして見付けたことや分かったことを「別所沼マップ」に絵や文で表現している。(発言・作品)
- ・「別所沼マップ」を基に、見付けたことや分かったことを友達に伝えている。(行動・発言・作品・つぶやき)
- ・ルールやマナーを大切に、公園を正しく安全に利用しようとしている。(行動・発言・作品・つぶやき)

態②



事例のポイント①④

ICT端末に記録したことを基に、別所沼マップに分かったことをかき込むことができたようにした。



編 P87 指導計画作成留意事項(3)

事例のポイント④

ノートやICT端末に書いたことを基に、インタビューすることができるようにした。(国語との関連)



事例のポイント④

ICT端末を活用して気になったことや分かったことを写真に収め探検の記録を蓄積できるようにした。

3 みんなとあそぶけいかくをたてよう (5)

- ①みんなと公園で遊ぶ計画を立てる。(2)
- ②みんなと公園で遊ぶ。(2)
- ③これまでの活動を振り返る。(1)

知・技①

- ・公園にあるものや施設の意味や役割に気付いている。(発言・作品・ノート)

知・技②

- ・公園のルールやマナーを守って遊ぶと自分たちや公園を利用する人たちが気持ちよく過ごせることに気付いている。(発言・作品・ノート)

知・技③

- ・公園を利用すると、自分たちの生活がより楽しくなることに気付いている。(行動・発言・ノート)

思・判・表③

- ・公園のルールやマナーを守って活動している。(行動・発言)

態③

- ・「別所沼マップ」を基に、みんなと公園で遊ぶ計画について話し合っている。(発言・作品・ノート)

- ・公園の特性を生かした遊びやルールを考えようとしている。(発言・作品)

- ・公園の遊具や施設、公園を管理している人に親しみや愛着をもち、大切にしようとしている。(行動・発言・ノート)



事例のポイント②

別所沼マップやICT端末に記録した写真を活用して、遊ぶ計画を立てることができるようにした。



事例のポイント②

別所沼マップを基に、遊ぶ計画を立てることができるようにした。

6 本時の学習指導（小単元3 2/5時）

(1) 目標

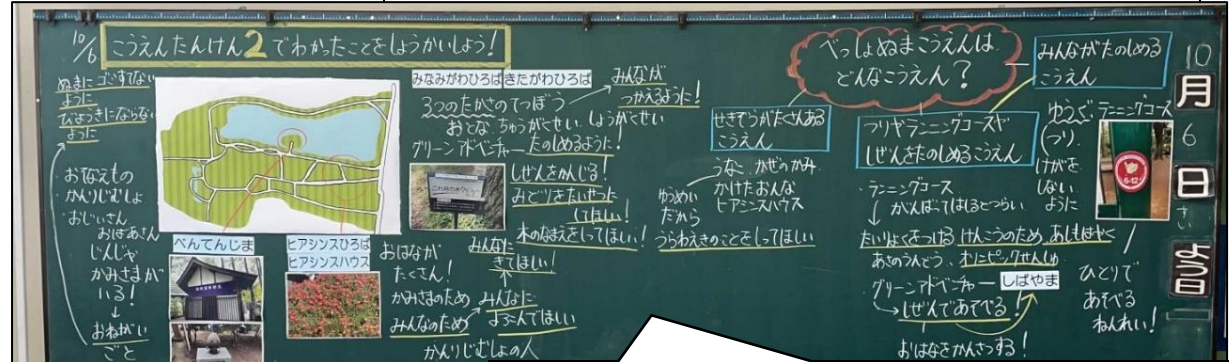
○公園探検2を振り返る活動を通して、公園探検2で見付けたことや分かったことを友達と共有することで、公園にはみんなで使うものや公園を支えている人たちがいることに気づき、公園を正しく安全に利用することができるようにする。

(2) 展開

児童の活動・意識	評価（●）と支援（○）	時間
<p>1 前時までの活動を振り返り、本時の活動の見通しをもつ。</p> <p>・公園探検1で分からなかったことを調べられたよ。</p>	<p>○「別所沼マップ」や電子黒板を基に、公園探検2を振り返ることができるようにする。</p> <p>○公園探検1で話し合ったことを想起することで、これまでの学習との関連をもたせ、既習を生かしながら話すことができるようにする。</p>	5
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="167 651 831 1149"> <p>別所沼マップ</p> </div> <div data-bbox="837 707 1444 1016"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="499 1039 986 1196" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事例のポイント① 別所沼マップを基に、これまでの学習を振り返り、本時の活動に見通しをもつことができるようにした。</p> </div> <div data-bbox="992 1039 1437 1196" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事例のポイント④ 電子黒板を活用し、公園探検2やこれまでの活動を振り返ることができるようにした。</p> </div> </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">             こうえんたんけん2で わかったことを しょうかいしよう！           </div>		
<p>2 公園探検2で分かったことや気付いたことを全体で話し合う。</p> <p>・児童広場は、みんなが楽しく安全に遊ぶように遊具に年齢やルールがかいてあったよ。</p> <p>・マラソンコースを利用している人は、健康のために利用している人が多かったな。</p> <p>・きれいなお花がたくさん咲いていたのは、公園管理事務所の人が公園を利用する人が気持ちよく過ごせるように育てていることが分かったよ。</p> <p>・別所沼公園は、みんなが楽しく過ごすためにあると思うな。</p>	<p>●公園にはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることに気付いている。</p> <p style="text-align: right;">【知・技①】（発言・作品・つぶやき）</p> <p>○前時までに、公園探検2で見付けたことや分かったことを「別所沼マップ」にまとめ、それを基に、話し合うことができるようにする。</p> <p>○話し合う中で、新しいことに気付くことができたなら「別所沼マップ」にかき足していくことができるようにする。</p> <p>○児童から出てきた発言を場所、もの、人と関連付けて整理し、板書していくことで、場所やものの機能や役割、公園に関わる人々の気持ちに気付くことができるようにする。</p> <p>○板書していく中で、別所沼公園はどんな公園であるのか考えることができるようにすることで、公園の役割に気付くことができるようにする。</p> <p>○様々な考えの児童を取り上げ板書していくことで、場所によって守るべきルールやマナー、利用している人が変わることにより気づき、みんなが公園を正しく安全に使うにはどうすればいいのか考えることができるようにする。</p>	30



事例のポイント②  
別所沼マップやICT端末に記録されている写真を基に、分かったことや気付いたことを振り返ることができるようにした。



事例のポイント③  
分かったことや気付いたことを板書に可視化することで児童の考えを関連付けたり、比較したりして、自分の考えを捉え直すことができるようにした。

編 P87 指導計画作成留意事項(2)

- 3 本時の活動を振り返り、次の活動に見通しをもつ。
- 公園は、みんなが楽しく過ごすためにあると思います。それは、遊具や運動場があって、遊びを楽しむことができるからです。
  - 公園は気持ちをリラックスするためにあると思います。それは、釣りをしたり、ベンチで本を読んだり、たくさんの自然があったりするからです。

- ルールやマナーを大切に、公園を正しく安全に利用しようとしている。
- 話し合ってまとめた板書を基に、友達のと自分の考えを比較したり、関連付けたりしながら本時の学びを捉え直し、「別所沼マップ」に本時の活動を振り返り表現することで、これから別所沼公園をどのように利用しようとするのか考えることができるようにする。
- 振り返ることが難しい児童は、板書や掲示物、「別所沼マップ」を教師とともに見ながら、これから別所沼公園をどのように利用しようとするのか考えることができるようにする。

編 P87 指導計画作成留意事項(1)

振り返りの内容

10月6日  
みんなのしめるこうえんはゆがやけんこうなはしやねんれいがたくさんあるからみんなのためにかいてあるんだなっておもいました。

事例のポイント③  
別所沼マップに本時の振り返りを行うことで、これまでの学びを蓄積し、自分自身の成長に気付くことができるようにした。



編 P87 指導計画作成留意事項(2)

7 本実践を振り返って

本実践は、表現活動の充実を図り、気付きの質を高めるために「別所沼マップ」を活用して体験活動を通して得た気付きを捉え直すことができるようにした。メモやICT端末に蓄積した写真などを基に、活動を振り返り、「別所沼マップ」に分かったことを書き込んでいく中で「分かったことをマップにかくことで、分かったことが大きくなりました。」などと授業の振り返りを記述した児童が複数見られた。また、単元末の振り返りでは「公園探検に何回もいったことで、公園のすごさが分かりました。いろいろな人たちが、みんなのためにがんばっていることがすごいと思いました。また、友達と別所沼公園に行きたいです。」と表現している。このように、計画的に体験活動と表現活動を相互に繰り返し行うことで児童の気付きの質が高まり、公園に対する認識を深めることができた。今後は、内容に応じた表現活動の工夫の在り方について実践を行っていきたい。